

○13期 K さんから（下線及び青文字部分が都支部からの回答）

今回、K さんからのコメントがなかったところをご承認いただいたものとして、前回の意見書の内容を一部割愛させていただきましたので何卒ご了承ください。赤文字及びカラー枠で囲んだ文章は、新たに K さんがご発言されたことです。文中、多色を使用しました。見づらい場合は申し訳ありません。

4月7日に配信された総会 ご意見と返答3に対する意見

『日本茶の正しい理解と普及の為に、自主的に考え、活動する会員を支援する』 というのは、会員どなたかの活動に対して予算をつける、ということではありません。日本茶が好きで、せっかく資格を取ったのですから、ぜひ行動を起こしましょう、という呼びかけであり、これから発信をする方の為のサポートです。また、その為の会員間の横の繋がりも作ってゆけたら良いと思っています。具体的には、「講座の開き方」を色々な方向から学び、最終的には外部への発信（どのような形でも）を目指す、ということを計画しています。「消費地東京」で「消費者目線を持つお茶のプロ」である私達にふさわしい方法を模索するきっかけになり、会員がそれぞれの方法で外部に働きかければ、「支部活動」に参加するよりも、大きな効果を得られる かもしれません。

ただ、コロナの影響で「集まる」ということがいつになったら可能なかわかりませんので、この状況の中でできることを、総会后すぐにでも計画したいと考えています。

「講座の開き方」参考資料に載っているゼロから実現する個人活動（仮称）というのがそれにあたるのでしょうか。もし開催されたら、私も参加したいです。

私は食育プロジェクト終了に反対はしないと申し上げましたが、それはチーフ側からの申し出、あるいはチーフ、役員両方から同時に悲鳴が上がった結果であれば、仕方ないと思ったからです。役員側からの突然の告知であったとすれば、事情はちょっと違ってきます。新体制移行の必要性はよくわかりました。しかし、そのやり方に強引さを感じます。Bさんや、Lさんの言われているとおり1月25日に初めてこの事実が伝えられたのだとしたら、それを3月21日の総会でいきなり私たち会員に賛成か反対かどちらか決めろというのは乱暴過ぎます。事前に T.C.N や、出欠ハガキ等でこの議案について周知していないということは、委任状の人には事後承諾でかまわないというお考えですね？言葉は悪いですが、だまし討ちのようなものです。

何人かの方が言われているとおり、来期に持ち越してもよいではありませんか？その間人が死ぬわけでもないし、おそらくこの状況下では、今年度の食育の開催は無理でしょう。大きな提案をし、改革の方向性を定めただけで実施は次の役員に任せるのは、そんなに無責

任なことだと思いません。逆に、支部長、事務局、会計が既に役員経験者であり、且つ、役員会に食育チーフ6名中 2人がいる現在、食育についての改革を行えるのは、今しかない、と判断された理由は何ですか？そのメンバーなら言うことを聞いてくれるからですか？この状態を次の役員会に持ち越すことは絶対にしない、という強いこだわりを持っていただけるようですが、何か特別な理由がおりなのでしょう。正式な選挙で選ばれた次期役員の方たちに託せばよいではないですか。

全ての方の意見を読ませていただきました。Aさんをはじめ、食育授業請負停止に反対している人が多いのに正直驚きました。都支部での食育信仰は根強いのだなと思いました。この返答を書いている方がどなたかわかりませんが、あなたがいくら理にかなった説明を繰り返しても、人は気持ち良く納得してくれませんよ。

人を自分の意見に従わせるには、その根底に思いやりがなければなりません。あなたが本当に都支部の将来を案じ、この改革が必要であると信念を持っているのなら、何回でも話し合い、何回でも説得すればよいではありませんか。それをしないで、たった一回のチーフ会議における説明のみで、いきなり総会に諮るのは卑怯です。

回答 1

委任状は、文字通り、議事に関して、総会での決定を支持する、という意思表示です。元来、総会は支部の運営について話し合う最も重要な場です。意見を述べるご意思があれば出席なさり、ご都合がつかず委任、ということであれば、それはそれで何の問題もありません。食育については、ギリギリまで「このままのスタイルで立て直し」の道を探っていました。会員の皆様にも、「食育プロジェクトの抱える問題について」というような問題提起を以前から行っていれば良かったのかもしれませんが、役員会のやり方が完璧であるなどとは全く思っておりません。素人集団であり、仕事や家庭に向ける時間の合間を縫っての業務です。丁寧さに欠ける部分は幾重にもお詫び致します。

回答 2

繰り返しになりますが、役員の任期は2年です。1年目は、目の前の活動をこなすだけで精一杯で、従来のやり方を変える、というような決断をできるような状況ではありません。次期役員の方がスタッフ不足に悩むことになるのは、これまでの状況から言って、ほぼ確実であらうと思われます。また、何かを変える、とというのは、非常にエネルギーのいることです。奥村恵子さんのご意見にもありましたが、あと一年、このまま食育プロジェクトを維持する方が、現役員会にとってはずっと楽です。しかも、コロナの影響で食育授業の数は間違いなく減ります。プロジェクトをそのままにしておいても「開店休業状態」です。しかし、1年後、2年後はまた厳しい現実が戻ってきます。

回答3

すでに支部活動の仕組みについては理解しているメンバーが多い、ということです。食育については、既に困難な状態に陥っていること役員会発足当時から認識していました。その為、当初から組合との話し合いを持ち、都支部の状況も説明させて頂いています。また、食育プロジェクトを立て直すための模索も続けてきました。役員会内に食育チーフがいることで、食育の現場が抱えている問題(そもそも、それが存在するのか、というところからの出発でしたが)の洗い出しもスムーズに行えました。その結果、改善できる所は改善した上で、今後もこのままの形でプロジェクトを続けることは難しい、と判断しました。また、現在の形式を改め、新しい方法を作り上げてゆくに当たっては、食育活動に不案内な役員では厳しいと思います。残りの1年でそれをやり遂げようと考えています。

回答4

決定は話し合いで行っています。

回答5

「この状態を次の役員会に持ち越すことはしない」という言葉自体は、都支部の財政問題に言及した際のもので、引用します。「都支部の財政はじわじわと悪化し、一昨年からは、役員がスタッフ費（20万程度）を何度も立替える事態になっています。この状態を次の役員会に持ち越すことは絶対にしない、という徹底した目標の下に、昨年、いくつかの活動を黒字にしました。また、新規事業は赤字では引き受けないことと、ブロックからの期間限定の協力により財政は予定より早く立ち直っています。が、気を緩めればすぐにもとの状態に転落するでしょう。「手に負えないほどの事業を抱えない」ということは、現在の東京都支部にとって、非常に大切なことであると思います。」
ただし、現在の食育プロジェクトをこの役員会の任期中に、何とか持続可能なものにしようと考えていることは確かです。理由は回答2, 3で述べた通りです。

回答6

色々なお立場から、違ったご意見が出されるのは当然のことであるかと思えます。この提案に賛同して下さっている方も、数多くいらっしゃいます。「理にかなった説明」ではダメなのであれば、どうすれば良いのでしょうか。

回答7

まず、「従わせる」という仰り方は当たっていません。会員の総意を諮る為に、総会の場で意見の交換をしています。そこでの決定が全てです。
何回でも話し合い、何回でも説得する、というのは今回、反対のご意見を出されている方々に対してでしょうか。皆様のご意見に対しては、できる限りの説明をさせて頂いてい

ます。団体の運営は、最終的には多数決しかありません。お一人ずつに説明をし続けるのは不可能です。

Kさんには、これまでスタッフとして数多くの食育授業にご参加頂きました。今後とも、変わらぬご協力を賜りたく、どうぞ宜しくお願い致します。

③ その他 役員改選について

『近年は選挙管理委員の方々の苦勞も並々ならぬものであるとの報告も、役員会に届いております。』

そもそも選挙管理委員は、誰が決めているのですか？

例えば私でもなることはできますか？

以下をご確認下さい。

(特非) 日本茶インストラクター協会都道府県支部役員選任細則

(選挙管理者)

第8条 選挙の実施に当り、非候補者による複数の選挙管理者を置く。選挙管理者等は選挙方法を決定すると共に、公正な選挙が実施されるよう努める。

補則) 第9条 この細則に定めない要件については、ブロック長と協議の上決定する。

都支部では、支部運営をよく理解している方に支部長をお願いする、という形をとっています。場合によってはブロック長との連携を取りながら、ということになるかと思います。Kさんにも、もちろん資格はあります。ただ、選挙管理委員は選挙の為だけに存在するものですからもし、支部運営についてご意見をお持ちであれば、むしろ役員としてご活躍くださる方が理にかなっていると思います。

ご提言ありがとうございます。

しかし、私は選挙管理委員になりたいとはひとことも言っておりません。

ご質問の意味を取り違えていたのなら申し訳ありませんでした。

★ 意見の文章を切断し、そのつどお答えいただくような形はやめていただけますか。他の方の意見も非常に読み辛く、総意が汲みとりにくいです。総会ご意見と返答1のようなやり方をお願いします。

ご要望に従った形で、お答えさせて頂きました。文章の中に多くのご質問が含まれているため、ご質問毎に色分けし、回答もまとめて記載しています。